

平成26年度 国の科学技術関係施策及び その重点項目について

厚生労働科学技術部会

平成26年度 厚生労働科学技術研究費補助金
概算要求前評価

目次

- 健康・医療に係る科学技術を巡る最近の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 日本再興戦略の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 健康・医療戦略の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 健康・医療戦略（Ⅰ新技術の創出（研究開発、実用化））・・・・・・・・・・ 6
- 健康・医療戦略（Ⅱ新技術・サービスの基盤整備）・・・・・・・・・・・・・ 7
- 医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針（概要）・・・・・・・・・・ 8
- 総合科学技術会議の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 科学技術イノベーションが取り組むべき課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針（抜粋）・・・・・・ 11

- <参考>・・ 13
 - （参考1） 新たな医療分野の研究開発体制について
 - （参考2） 医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針

健康・医療に係る科学技術を巡る最近の動向

戦略について

- 科学技術イノベーション総合戦略～新次元日本創造への挑戦～（平成25年6月7日 閣議決定）
- 日本再興戦略-JAPAN IS BACK-（平成25年6月14日 閣議決定）
- 健康・医療戦略（平成25年6月14日 関係閣僚申合せ）

予算に関する方針

- 平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針（平成25年7月31日 総合科学技術会議）
- 医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針（平成25年8月8日 健康・医療戦略推進本部）

日本再興戦略の概要

3つの政策

【第一の矢】
デフレマインドを一掃
大胆な金融政策

【第三の矢】
企業や国民の自信を回復し、
「期待」を「行動」へ変える
新たな成長戦略

【第二の矢】
湿った経済を発火
機動的な財政出動

健康・医療戦略の
主な施策を反映

成長への道筋

民間の力を引き出す

(新陳代謝、規制・制度改革、官業開放)

全員参加による総力戦

(女性・若者・高齢者を最大限活かす、
世界で活躍する人材の育成)

新たなフロンティアを創る

(技術立国日本の再興、
「メイド・バイ・ジャパン」で復活)

3つのプラン

日本産業再興プラン

-産業基盤を強化-

- 産業の新陳代謝
- 雇用制度改革・人材力強化
- 科学技術イノベーション強化
- ITの利活用促進
- 立地競争力強化
(エネルギー制約、特区等)
- 中小企業の革新

戦略市場創造プラン

-課題をバネに新たな市場を創造-

- 「健康寿命」の延伸
- クリーンなエネルギー需給
- 次世代インフラの構築
- 地域資源で稼ぐ社会(農業等)

国際展開戦略

-拡大する国際市場を獲得-

- 戦略的通商関係構築
(TPPやRCEP等)
- 海外市場の獲得
(インフラ輸出、クールジャパン等)
- 内なるグローバル化の促進
(対内直投、グローバル人材)

活力・人材 / 新製品・新サービス

異次元のスピードによる政策実行/国家戦略特区を突破口とする改革加速/進化する成長戦略
〈〈政策群毎にKPI(達成目標)を設定して進捗管理。成果が出ない場合は、政策を見直し・追加〉〉

激んでいたヒト、モノ、カネを一気に動かし、10年間の平均で名目成長率3%程度、実質成長率2%程度を実現。
その下で、10年後には1人当たり名目国民総所得が150万円以上拡大。

健康・医療戦略の概要

1. 基本的理念

出典: 首相官邸HP 健康・医療戦略室の資料をもとに厚生科学課で作成

(1) 健康長寿社会の実現

社会保障と財政の持続可能性を確保する中で、健康長寿社会を実現し、活力ある社会を構築する。

(2) 経済成長への寄与

医療関連産業を活性化し、我が国経済の成長に寄与する。

(3) 世界への貢献

課題解決先進国として、超高齢化社会を乗り越えるモデルを世界に広げる。

2. 戦略実施にあたっての視点

(1) 政策の重点化

✓ 政策の実施にあたっては、資源を重点投入すべき重点分野を明確化するとともに、資源投入によるアウトカム目標を設定する

(2) 効果的・効率的な政策手段の採用

✓ アウトカム目標実現のための政策手段について、規制・制度改革から、予算・税制・施策金融を見渡し、最も効果的・効率的な政策手段を採用する。

(3) PDCAの徹底

✓ PDCAを徹底する。エビデンスに基づいて、政策の効果と効率性を検証するとともに、これらの検証結果を確実に政策の見直しに活かす。

(4) 民間の活力(規制改革等)

✓ 民間の創意と工夫を活かして新たな活力を生み出すことを基本とする。こうした観点から官民が適切な役割分担を行うとともに、官が関与する場合には、その根拠を明確化する。

(5) 実行力

✓ 健康・医療分野の課題は見えている。速やかに実施すべき政策は速やかに実行するとともに、施策の推進にあたっては産学官一体となって取り組む。

3. 具体的なアプローチ

I 新技術の創出(研究開発,実用化)

日本の官民の力の再編成による目標への挑戦

(1) 政府部門における研究開発の推進と重点化

◆ 革新的な医療技術の実用化を加速するため、医療分野の研究開発の司令塔機能(「日本版NIH」)を創設し、研究開発の推進と重点化に向けた取組みを着実に実行

(2) 民間部門における研究開発の推進

II 新サービスの創出(健康寿命伸長産業の創出)

(1) EBMIに基づく予防技術・サービス手法の開発

(2) 技術や手法を核とする具体的サービスの創出

(3) サービス事業を取り込んだ新しいヘルスケア社会システムの確立

III 新技術・サービスの基盤整備

(1) 人的資源の活用、人材育成

(2) 規制・ルール

(3) 試行用プラットフォーム確保

(4) ICT・デジタル技術

IV 国際医療協力の推進

(1) 国際医療協力の枠組みの構築により、国外医療圏の獲得

(2) 一般社団法人MEJを中核組織とする医療事業の国際展開の推進

(3) 顧みられない熱帯病等 医薬品の官民連携による開発・供給支援

(4) ODAなどの活用

I 新技術の創出（研究開発、実用化）－官民の力の再編成

出典：首相官邸HP 健康・医療戦略室より

政府部門：医療分野の研究開発の司令塔機能（「日本版NIH」）の創設

■ 推進本部の設置

- ・ 司令塔の本部として、内閣に、総理・担当大臣・関係閣僚からなる推進本部を設置。

■ 医療分野の研究開発に関する総合戦略の策定

- ・ 重点化すべき研究分野とその目標を決定。

■ 医療分野の研究開発関連予算の一元化及び戦略的・重点的な予算配分

- ・ 総合戦略の実施のために必要な各省計上予算を一元化。

■ 一元的な研究管理の実務を担う中核組織の創設

- ・ 国として戦略的に行うべき実用化のための研究を基礎段階から一貫通貫で管理する独立行政法人を設置。
※独立行政法人の設置は、スクラップアンドビルド原則に基づき行うこととし、公的部門の肥大化は行わない。

■ 国際水準の質の高い臨床研究・治験が確実に実施されるような仕組みを構築

- ・ 臨床研究中核病院及び早期・探索的臨床試験拠点において、所要の措置を講ずる。
- ・ 臨床研究・治験の実施状況についてのデータベース構築。
- ・ 民間資金の積極的活用による臨床研究・治験機能の強化。

■ 世界最先端の医療の実現に向けた取り組みと希少疾病や難病等のアンメットメディカルニーズへの対応

- ・ 再生医療の実用化の実現。
- ・ 希少疾病、難病等アンメットメディカルニーズへの対応。

Ⅲ 新技術・サービスの基盤整備（抜粋）

出典：首相官邸HP 健康・医療戦略室より

■ 人的資源の活用、人材育成

- 医療・介護のニーズとシーズをビジネスとして突合できる人材の育成。
- 既存の事業に埋もれている人的資源、可能性の追求。人材の流動化。
- 新しい需要に対応するためのコメディカル等の活用。

■ 規制・ルール

- 再生医療、医療機器の特性を踏まえた薬事法改正や再生医療の安全性を確保するための再生医療等安全性確保法による法的措置
- 最先端の技術を活用した医薬品、医療機器等の有効性と安全性を評価するための研究の推進
- 薬事戦略相談の拡充、審査・安全対策の充実等のPMDA強化

■ イノベーション（革新的医薬品・医療機器等）への適切な評価

■ 新技術・サービスの試行用プラットフォーム確保

- 最先端特区制度等の利用による実社会への適用試験（ショールーム）

医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針(概要)

(平成25年8月8日 健康・医療戦略推進本部決定)

1. 推進本部による一元的な予算要求配分調整の進め方

医療分野の研究開発関連予算を戦略的・重点的に配分するため、要求段階から、政治の強力なリーダーシップにより、推進本部において一元的な予算要求配分調整を実施。

- ・各省は、医療分野の研究開発関連予算の全ての要求を内閣官房へ提出
- ・内閣官房は要求内容に係る所要の調整を実施。各省は、当該調整後、要求の内容について内閣官房の了解を得ることにより、内閣官房と共同して概算要求を実施推進本部において、医療分野の研究開発関連予算を取りまとめ
- ・進捗調整のための調整費を創設

2. 重点化すべき分野

- 疾病領域ごとの取組
 - ・がん領域
 - ・精神・神経疾患領域
 - ・感染症領域
 - ・難病・希少疾患領域等
- 医薬品・医療機器開発への取組
- 臨床研究・治験への取組
- 世界最先端の医療の実現に向けた取組
 - ・再生医療
 - ・ゲノム医療
- 分野横断的研究の推進

3. PDCA の徹底

PDCA (Plan Do Check Action) を徹底する。各省は施策の効果・効率性を検証し、その結果を推進本部に報告する。推進本部はその報告内容を検証し、確実に翌年度の一元的な予算要求配分調整に反映する。

4. 留意事項

アウトカム目標の明確化、効果的・効率的な政策手段の採用等。

総合科学技術会議の動向

- 科学技術イノベーション総合戦略～新次元日本創造への挑戦～（平成25年6月7日 閣議決定）
- 平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針（平成25年7月31日総合科学技術会議）

2. 科学技術イノベーションが取り組むべき課題

○2030年の我が国のあるべき経済社会の姿の実現を図るとともに、現下の喫緊の課題である経済再生を強力に推進するため、以下の5つの課題について、重点的に取り組む。（各課題の具体例については、P3～7参照）

出典：総合科学技術会議HP
科学イノベーション総合戦略室

I. クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現

重点的課題

- ・ クリーンなエネルギー供給の安定化と低コスト化
- ・ 新規技術によるエネルギー利用効率の向上と消費の削減 等

主な取組(例)

- ・ 浮体式洋上風力発電、火力発電の高効率化
- ・ 革新的デバイスの開発 等

II. 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現

重点的課題

- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 次世代を担う子どもの健やかな成長 等

主な取組(例)

- ・ がん等の革新的予防、診断、治療法の開発
- ・ BMI、在宅医療・介護関連機器の開発 等

III. 世界に先駆けた次世代インフラの整備

重点的課題

- ・ インフラの安全・安心の確保
- ・ レジリエントな防災・減災機能の強化 等

主な取組(例)

- ・ インフラ点検・診断技術の開発
- ・ 耐震性等の強化技術の開発 等

IV. 地域資源を'強み'とした地域の再生

重点的課題

- ・ 科学技術イノベーションの活用による農林水産業の強化
- ・ 地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり 等

主な取組(例)

- ・ IT・ロボット技術等による生産システムの高度化
- ・ 生産技術等を活用した産業競争力の涵養 等

V. 東日本大震災からの早期の復興再生

重点的課題

- ・ 住民の健康を災害から守り、子どもや高齢者が元気な社会の実現
- ・ 地域産業における新ビジネスモデルの展開 等

主な取組(例)

- ・ 被災者に対する迅速で的確な医療の提供と健康の維持
- ・ 競争力の高い農林水産業の再生 等

平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針(抜粋)

(平成25年7月31日 総合科学技術会議)

I. 基本的考え方

特に、総合戦略第2章※に係る「国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現」に係る取組については、現在、「日本版NIH」構想の具体化が進められていることに鑑み、内閣官房健康・医療戦略室との緊密な連携の下、「戦略的イノベーション創造プログラム」も活用した、当該分野への予算の重点化を進める。

※科学技術イノベーション総合戦略 第2章
「科学技術イノベーションが取り組むべき課題」

平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針(抜粋)

(平成25年7月31日総合科学技術会議)

Ⅱ. 平成26年度予算における重点化の考え方

① 戦略的イノベーション創造プログラムの創設

戦略的イノベーション創造プログラムについては、今後、原則として、以下の基本的な考え方にしたがって内閣府で具体化を行う。ただし、医療分野については、当該分野の研究開発の司令塔の本部として内閣に置かれる推進本部のとりまとめと整合性をもって具体化する。

参考

(参考1)

新たな医療分野の研究開発体制について

(平成25年8月8日 健康・医療戦略推進本部)

(参考2)

医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針

(平成25年8月8日 健康・医療戦略推進本部)